令和４年度

郷土資料館

事業実績報告書

令和4年度事業実績報告書　事業分類番号一覧

担当	大分類	中分類	小分類	細分類	ページ番号
業務担当	1 世代共通	1 学習分野	1 いつでも、どこでも、誰でもが主体的に学ぶことのできる機会を充実します。	16 郷土資料館・附属施設加賀家文書館・豊原分館の一般公開と展示の充実	業務担当1
				17 広報活動の充実（ホームページ・郷土資料館だより）	業務担当3
				18 郷土学習の支援	
		2 芸術文化分野	1 ふるさと芸術・文化を振興し、文化芸能団体活動をサポートします。	17 郷土研究会等の育成	業務担当4
			3 ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。	09 郷土資料の収集・整理・保存・調査研究	
				10 歴史や自然に関する調査研究	業務担当5
				11 ふるさと講座	業務担当6
				12 加賀家文書歴史講座	業務担当8
				13 特別展・企画展	業務担当9
				14 郷土学習出前講座	業務担当10
				15 出前移動展	業務担当11
				16 資料の有効的活用のための貸出	業務担当12
				17 郷土学習推進に関わる刊行物の作成	業務担当13
	2 生涯各期	2 青少年期	2 魅力ある様々な体験的学習活動を展開するとともに、他地域・異学年交流を充実します。	17 郷土資料館サマー・ウインタースクール	業務担当14
		4 高齢期	3 ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。	03 所蔵資料を活用した地域回想法事業	業務担当15
	3 施設・機関	4 郷土資料館	1 郷土資料館の整備・充実を図り、文化遺産（郷土資料館）の継承に努めます。	01 郷土資料館の建設準備	業務担当16
文化財担当	1 世代共通	2 芸術・文化分野	(2)町の歴史的遺産や文化財を適切に保存するとともに、歴史・自然・文化財を学ぶ機会の充実を図り、郷土愛を育成します。	01 町指定文化財指定・公開活用事業	文化財担当1
				02 埋蔵文化財保護事業	文化財担当2
				03 別海町歴史文化遺産認定・公開活用事業	
				04 奥行地区文化財保存整備事業	文化財担当3
				05 西別湿原ヤチカンバ群落地保存整備事業	文化財担当4
				06 文化財保存活用地域計画・歴史的風致維持向上計画策定事業	文化財担当5
				17 日本遺産整備活用事業	文化財担当6
				18 宮舞町湿原保護事業	文化財担当7

1-1-1-16			
分類	1-1-1　世代共通-学習分野	担当課	郷土資料館
推進目標	いつでも、どこでも、誰でもが主体的に学ぶことのできる機会を充実します。		
事業名	**郷土資料館・附属施設加賀家文書館・豊原分館の一般公開と展示の充実**		
事業内容・目的	町の歴史や自然、加賀家文書等関連資料を広く展示公開し、新着資料、展示解説のリニューアル、調査研究の成果などを常設展示に反映させ、町民の学習機会の充実を図ります。		
評価指標	1.入館者の満足度（アンケートによる）2.入館者数（郷土資料館・加賀家文書館）3.入館者数（豊原分館）		
備考			

年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	80%	80%	85%	85%	85%
目標値2	900	900	950	950	1,000
目標値3	100	100	150	150	200
実績1	93%	86%	92%	87%	
実績2	955	439	423	750	
実績3	84	29	15	41	
決算額	7335千円	3896千円	3831千円	4136千円	
評価	B	B	B	B	

令和4年度（2022）実績

１．入館者の満足度（郷土資料館・加賀家文書館）-87%（アンケート回答29人）
２．入館者数（郷土資料館・加賀家文書館）-750人（個人-384人・団体-25団体366人）
３．入館者数（豊原分館）-41人（個人-12人・団体-3団体29人）

団体入館状況（郷土資料館・加賀家文書館）

月　日	団　体　名	人　数	対　応　内　容
5月24日	町内新任教諭研修会	18	展示解説
7月9日	ふるさと講座歴史系第2回目参加者	9	
7月19日	飛騨屋久兵衛子孫関係者	3	展示解説
8月4日	サマースクール参加者	8	
8月17日	中西別長寿会	3	
9月6日	上春別中学校2年生	13	展示解説・講話
9月9日	中春別中学校1年生	18	
9月25日	日本遺産ツアー	18	展示解説
9月26日	中西別長生文化会	18	展示解説
9月29日	ワールド航空サービス	10	展示解説
10月4日	中春別中学校2年生	10	展示解説
10月5日	新日本旅行日本遺産ツアー	22	展示解説
10月16日	日本遺産ツアー	14	展示解説
10月27日	中春別小学校4年生	18	展示解説
11月21日	中西別小学校4年生	4	展示解説・講話
1月27日	上西春別小学校3年生	21	展示解説・講話・昔の道具の体験(炭火アイロンなど)
1月28日	加賀家文書歴史講座受講者	2	展示解説・講話
2月6日	中春別小学校3年生	26	展示解説・講話・昔の道具の体験(炭火アイロンなど)
2月9日	別海中央小学校3年生	56	展示解説・講話・昔の道具の体験(炭火アイロンなど)
2月10日	西春別小学校3.4年生	13	展示解説・講話・昔の道具の体験(炭火アイロンなど)
2月21日	中西別小学校3.4年生	9	展示解説・講話・昔の道具の体験(炭火アイロンなど)
2月28日	上春別小学校3.4年生	12	展示解説・講話・昔の道具の体験(炭火アイロンなど)
3月6日	野付小学校3年生	19	展示解説・講話・昔の道具の体験(炭火アイロンなど)
3月7日	上風連小学校3年生	7	展示解説・講話・昔の道具の体験(炭火アイロンなど)
3月30日	浜中町児童発達支援センター	15	展示解説

団体入館状況（豊原分館）

月　日	団　体　名	人　数	対　応　内　容
6月3日	別海高等学校農業特別専攻科	6	
8月23日	日本旅行　内閣府北方領土隣接地域への修学旅行誘致促進ツアー一行	12	展示解説・講話
10月14日	根室農業改良普及センター	11	展示解説・講話

入館者の感想-アンケートから-

●郷土資料館について

・鉄道特に簡易軌道の写真がよかったです。開拓時代の古い写真が大変興味をそそり非常に楽しく拝見しました(東京都・50代男性)

・厳しい自然において、先人の方達が開拓、土木工事、様々な事業を起こし、それが現在へと続いていることを改めて学ばせていただきました。先人の方が実際に使用していた道具から当時の方の想いや苦労に想いをはせたり、小学生の娘と共に私自身も勉強しました。ありがとうございました。（東京都・40代女性）

・ひとつひとつは、大変興味深いがどれも中途半端。なんでも展示はやめて酪農なら酪農、漁業なら漁業を丁寧に見れるように。（東京都・60代男性）

●加賀家文書館について

・原本（当時のそのもの）が、とても状態よく保管。詳細な記録すごいです。（愛知県・60代男性）

・こんなはるかな土地のはるかな昔のお話がとてもロマンティック。（東京都・50代男性）

・差別をうけていたアイヌの戦い。アイヌを助けた加賀家の人々。（札幌市・60代男性）

町内小学校来館の様子

1-1-1-17				
分類	1-1-1　世代共通-学習分野		担当課	郷土資料館
推進目標	いつでも、どこでも、誰でもが主体的に学ぶことのできる機会を充実します。			
事業名	**広報活動の充実（ホームページ・郷土資料館だより）**			
事業内容・目的	町の歴史や自然及び加賀家文書に関することをホームページなどを通じ、情報の提供を行い町民の学習機会の充実を図ります。			
評価指標	1.ホームページ更新回数（郷土資料館だより更新を除く） 2.発行回数(広報べつかい版、館配布・ホームページ配信版)			
備考				

年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	12	12	12	12	12
目標値2	24	24	24	24	24
実績1	25	17	18	21	
実績2	24	24	24	24	
決算額	－	－	－	－	
評価	A	A	A	A	

令和4年度（2022）実績

1．ホームページ更新回数（郷土資料館だより更新を除く）-21回
　事業のお知らせや実施報告、別海町の自然などを主に掲載。
2．発行回数-24回
　「広報べつかい版」では、事業のお知らせを主とし、「館配布・ホームページ配信版」では、町の歴史や自然に関するコラムを掲載。

1-1-1-18				
分類	1-1-1　世代共通-学習分野		担当課	郷土資料館
推進目標	いつでも、どこでも、誰でもが主体的に学ぶことのできる機会を充実します。			
事業名	**郷土学習の支援**			
事業内容・目的	町内外及び学校関係、各種団体の歴史や自然に関する調査・研究の支援を行い、情報の相互提供などを行い学習機会の充実を図ります。			
評価指標	1.件数			
備考				

年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	20	20	20	20	20
実績1	39	35	23	35	
決算額	－	－	－	－	
評価	A	A	A	A	

令和4年度（2022）実績

１．歴史関係-32件、自然関係-3件（町内-10件、管内-3件、管外-14件、道外-8件）
※来館、電話での回答や関係資料の提供を行うなど対応。

1-2-1-17			
分類	1-2-1　世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館
推進目標	ふるさと芸術・文化を振興し、文化芸能団体活動をサポートします。		
事業名	**郷土研究会等の育成**		
事業内容・目的	町内にある郷土研究会等への指導・協力を行い、郷土研究の充実・発展を目指します。		
評価指標	1.指導・協力回数		
備考			

年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	24	24	24	24	24
実績1	32	24	26	46	
決算額	－	－	－	－	
評価	A	A	A	A	

令和4年度（2022）実績

１．指導・協力回数-46回
　別海町郷土研究会
　①「風蓮湖周辺動植物調査」(17回)(郷土資料館と協同調査)
　②古写真・文献デジタル化作業（29回）

1-2-3-09			
分類	1-2-3　世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。		
事業名	**郷土資料の収集・整理・保存・調査研究**		
事業内容・目的	所蔵資料のうち、未整理や未分類、調査研究が不十分なものに対して、資料基本台帳のデジタルデータベース化と同時進行で整理などを実施するとともに、次世代に継承しなければならない郷土資料を収集します。		
評価指標	1.資料基本台帳登録資料数		
備考	1.資料基本台帳登録資料数　※令和5年3月31日現在総資料数　19,599点(平成17～令和4年度実績3,695点)		

年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	200	200	200	200	200
実績1	173	222	136	153	
決算額	52千円	71千円	46千円	28千円	
評価	B	B	B	B	

令和4年度（2022）実績

１．資料基本台帳登録資料数-153点（寄贈・作成資料分-計測・注記・写真撮影）
２．資料の寄贈・収集・作成
①寄贈資料数-152点(自然1点、生活2-93点、産業24点、文書資料-34点)
②作成資料数-マンモウスゾウが生息していた頃ジオラマ-1点

1-2-3-10			
分類	1-2-3　世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。		
事業名	**歴史や自然に関する調査研究**		
事業内容・目的	町の歴史・自然に関する調査研究を計画的に進め、知られざる史実を掘り起こし、教育普及活動を通して、町民に広く公表します。		
評価指標	1.調査件数		
備考			

年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	2	2	2	2	2
実績1	4	3	4	3	
決算額	-	127千円	17千円	74千円	
評価	B	B	B	B	

令和4年度（2022）実績

１．調査件数-3件
①歴史-「加賀家文書等資料」の詳細調査及び解読作業
②歴史-又十藤野家について（令和2年度から継続調査）
③自然-風蓮湖周辺の動植物調査（町郷土研究会協同調査）

風蓮湖周辺の動植物調査

1-2-3-11			
分類	1-2-3　世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。		
事業名	**ふるさと講座**		
事業内容・目的	町の歴史や自然に関する講座を開設し、ふるさと別海への愛郷心の高揚を図ります。		
評価指標	1.受講者の満足度（アンケートによる）		
備考			

年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	85%	85%	90%	90%	95%
実績1	89%	91%	94%	91%	
決算額	86千円	96千円	71千円	45千円	
評価	A	A	A	A	

令和4年度（2022）実績

１．受講者の満足度-91%（アンケート回答50人）
　自然系・歴史系共に満足度の高い講座となり、大変好評だった。

自然系	期　　日	場　　所	内　　容	受講者数
①	5月8日	野付半島	「シギ・チドリ観察会」 講師:NPO法人野付・エコ・ネットワーク 代表　藤井薫氏	7人
②	11月26日	野付半島	「小さな冬の使者ユキホオジロを訪ねる観察会」 講師:NPO法人野付・エコ・ネットワーク 代表　藤井薫氏	24人
③	2月12日	風連湖等	「冬の野鳥観察会」 講師:NPO法人野付・エコ・ネットワーク 代表　藤井薫氏	3人
歴史系	期　　日	場　　所	内　　容	受講者数
①	4月24日	野付半島	「江戸時代のノツケ～野付通行屋・番屋跡遺跡～」 講師:郷土資料館 副館長　石渡一人	9人
②	7月9日	郷土資料館	「別海町歴史文化遺産を巡る（戦争遺産編）」 講師:郷土資料館文化財担当 主幹　戸田博史	9人
③	10月30日	野付半島	「「擦文・アイヌ文化～窪みが残る古代集落遺跡群を巡る～」 講師:郷土資料館 副館長　石渡一人	4人

令和4年5月8日　自然系①

令和4年11月26日　自然系②

令和5年2月12日　自然系③

参加者の感想（アンケートから）
自然系①
・今までこのような観察会等に参加した事がなかったので、真近で色々な鳥を見たり、情報をおしえてもらいとても良かったです。風はとても強かったけど、とてもわかりやすい説明でした。また、機会がありましたら参加したいと思いました。
・近い距離で鳥が見れると思わず面白かったです。クロガモが近くにいたので、もう少し海の鳥についても聞きたかったかも？
・鳥の事は、まだ全然わからないのですが、シギ・チドリの観察会に参加した事で21種類の鳥を近くで見れたりしたので良かったです。又、参加したいと思います。ありがとうございました。
自然系②
・今日は天候も悪く、目的のユキホオジロを見ることができず残念。しかし、これが自然観察だと思います。次回に期待。
・厳しい環境で生きていることが分かった。他の野鳥も確認できてよかった。
・ユキホオジロがいる場所を知っただけでも良かったと思いました。
・レクチャーと資料をいただき、現地までのトレッキングも楽しかったので、満足です。また参加したいです。
・野付の自然にふれることができてよかった。
自然系③
・くもり空でしたが、気温が高く観察するのに良かったです。めずらしい鳥達を見る事ができて良かったです。説明してもらわない自分ではわからないものですね。
・風蓮湖では、オオワシの大群、春別川河口では、ツメナガホオジロやハギマシコなど珍しい冬の野鳥を観察でき満足しました。また、丁寧な解説がありとてもためになりました。
・絶対自分では探す事の出来ない、ツメナガホオジロなど、その貴重さもあわせておしえていただいたので、ためになりました。

歴史系①
・最初に講義があって説明を受けてから、現地に行くスタイルなのが分かりやすくよかったです。天気もよく気持ちがよく歩けてよかったです。もっと歴史に関する事業が町内で実施されればよいなぁと思います。ありがとうございます。
・別海町内在住ですが、コロナ禍でいろいろ制約がある中で、数年ぶりに参加させて頂き、町内の自然や歴史のすばらしさを再確認させて頂きました。企画準備・運営が大変だったと思いますが、ありがとうございました。
・念願の遺跡見学が出来てうれしいです。ありがとうございました。
・風が強かったが天気が良く普通なら見逃すような所に説明があって良かった。
・貴重な経験をいただきました。お話を伺うほどに興味がわきました。簡単に掘り返さず大事にしているものはすばらしいです。ありがとうございました。
・初めて参加させていただきました。次回は別海町郷土資料館や文書館にも行ってみようと思います。なかなか行けないところを学術的にくわしく説明いただき大変興味深かったです。
歴史系③
・ふだん車で通過する身近なところに古代集落遺跡があり、興味深かった。フィールドでも丁寧に解説頂き来年度もまた参加したい。まだ、調査されていない遺跡も多くあると知り、今後の研究の進展に期待したい。
・とても興味深かったです。（ワクワクしました。）実際にその場に立ち見回すことがすごいです。遺跡堀体験をしたいです。（掘り出したものを洗うとか組み立てるとか）もっと、もっと別海町の古い歴史（縄文時代など）を学びたいです。→町民に知ってほしいです。今後ともよろしくお願いします。
・すごくおもしろかったです。少人数ということもあり、疑問に思ったことをその場で解決できよかったです。縄文・擦文の人達の暮らしを想像したりして、ちょっとの間、現実逃避の感覚を味わいました。床丹の遺跡、是非行ってみたいです。
・郷土資料館がこんなに立派だと知りませんでした。機会があればゆっくり見学に来たいです。今日は説明も分かりやすく、また面白い話をたくさん聞け、満足な時間を過ごせました。ありがとうございました。

令和4年4月24日　歴史系①

令和4年7月9日　歴史系②

令和4年10月30日　歴史系③

業務担当7

1-2-3-12			
分類	1-2-3　世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。		
事業名	**加賀家文書歴史講座**		
事業内容・目的	加賀家文書を中心とした近世江戸時代に関する講座を開設し、加賀家文書に対する理解を深めます。		
評価指標	1.受講者の満足度（アンケートによる）		
備考			

年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	85%	85%	90%	90%	95%
実績1	83%	94%	100%	100%	
決算額	－	－	－	－	
評価	B	A	A	A	

令和4年度（2022）実績

１．受講者の満足度-100%（アンケート回答2人）			
期　　日	場　　所	内　　容	受講者数
1月28日	郷土資料館	「加賀家文書について」講話・展示解説 郷土資料館　副館長　石渡　一人	2人

1-2-3-13				
分類	1-2-3　世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館	
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。			
事業名	**特別展・企画展**			
事業内容・目的	調査研究の成果の公表及び所蔵されている資料を広く展示公開し、町の歴史や自然をより深く理解するための特別展・企画展を実施します。			
評価指標	1. 見学者の満足度（アンケートによる）			
備考				

年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	85%	85%	90%	90%	95%
実績1	88%	81%	90%	68%	
決算額	128千円	170千円	82千円	23千円	
評価	B	B	B	B	

令和4年度（2022）実績

１．見学者の満足度-90%（アンケート回答5人）				
	期　日	場　所	内　　容	入館者数
①	7月6日 ～9月25日	郷土資料館	特別展「根室海峡から発見されたマンモスゾウ臼歯化石」	261
②	2月2日 ～28日	図書館	釧路市立博物館企画展「湿原の王国・道東」	集計無

見学者の感想（アンケートから）
①特別展「根室海峡から発見されたマンモスゾウ臼歯化石」
・展示物がリアルだった。（町内・10代男性）
・別海にマンモスがいたのがびっくりしました。（札幌市・10代女性）
・ジオラマが素晴らしいです。ジャイアントビーバーの大きさにびっくり。（町内・50代女性）

令和4年7月6日-9月25日　①特別展「根室海峡から発見されたマンモウスゾウ臼歯化石」

令和5年2月2日-28　②釧路市立博物館企画展「湿原の王国・道東」

1-2-3-14					
分類	1-2-3　世代共通-芸術文化分野		担当課	郷土資料館	
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	**郷土学習出前講座**				
事業内容・目的	学校・各種団体の要望に応じて、郷土に対する理解を深めるための講座を開設します。				
評価指標	1.受講者の満足度（アンケートによる）				
備考					

年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	85%	85%	90%	90%	95%
実績1	80%	100%	100%	100%	
決算額	12千円	10千円	8千円	10千円	
評価	B	A	A	A	

令和4年度（2022）実績

１．受講者の満足度-100%（アンケート回答4団体）

月　　日	事業名とその内容	受講者数	担当職員等
5月26日	町内新任教諭研修会 「ふるさと学習読本で学ぶ別海町の歴史」	18	戸田主幹
6月21日	別海中央中学校1年生ふるさと学習 「奥行地区文化財について」	39	戸田主幹
6月22日	別海中央中学校1年生ふるさと学習 「奥行地区文化財について」	39	戸田主幹
7月6日	東公民館出前講座「勾玉作り」	29	石渡副館長
8月23日	日本旅行　内閣府北方領土隣接地域への修学旅行誘致促進ツアー 「別海町の農業のあゆみ」	12	石渡副館長
9月21日	別海町教育研究会社会科サークル研修 「大昔のべつかい・勾玉づくり」	16	石渡副館長
9月26日	中西別長生文化会 「別海町の文化財を巡る」	18	戸田主幹
9月30日	上西春別小学校4年生 「奥行地区文化財について」	18	戸田主幹
10月14日	根室改良普及センター職員研修 「根釧パイロットファームについて」	11	根釧PF開拓資料館青野芳樹氏
1月27日	上春別小学校5.6年生 「大昔のべつかい・勾玉づくり」	19	石渡副館長

出前講座の感想（アンケートから）

・1/27　上春別小学校5・6年生

　別海町でもたくさんの遺物が発見されていたことや、体験的な時間がたくさんあり、子どもたちも楽しんでいました。普段集中が続かない子も熱心に取り組んでいました。ありがとうございました。

令和4年10月14日　根室改良普及センター職員研修

1-2-3-15			
分類	1-2-3　世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。		
事業名	**出前移動展**		
事業内容・目的	これまでに実施した特別展のパネル資料などを学校・各種団体の希望に応じて貸出し、移動展を実施することにより、町の歴史や自然を身近に感じてもらいます。		
評価指標	1. 見学者の満足度（アンケートによる）		
備考			

年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	85%	85%	90%	90%	95%
実績1	86%	88%	84%	84%	
決算額	－	－	－	－	
評価	B	A	B	B	

令和4年度（2022）実績

1. 見学者の満足度-84%（アンケート回答15人）

期　間	事業名と内容	備　　考
7月4日 ～31日	野付半島ネイチャーセンター 「又十藤野家の足跡を探る」	パネル25枚
10月2日 ～29日	野付半島ネイチャーセンター 「義経伝説とヲ子コイチャシとチフルチャシの物語」	パネル14枚
1月8日	第11回ジオ・フェスティバルinKUSHIRO（釧路市遊学館） 「根室海峡で発見されたマンモウスゾウ臼歯化石」	パネル6枚 ジオラマ2点

見学者の感想（アンケートから）

●7/4～31　野付半島ネイチャーセンター

・開拓史のなかでも商人や企業に視点を置いたものは初めて見ました。江戸期の開　発での商人の貢献についてはよく知らなかったので、興味深く学べました。（東京都40代男性）

・滋賀県人として、先達の遺された偉業に感動しています。（滋賀県65歳以上女性）

●10/2～29　野付半島ネイチャーセンター

・日本語訳が少々おかしいところがあった。重要な人物や物には、太字・赤字などで表示するとわかりやすいか？　義経がエゾにいたかも…は、びっくりです。「かまくら殿の13人」でタイムリーでした。男性は昔から女性が好きだったんですね。女性の戦い方はどうだったんでしょうね。

令和4年10月2日-29　野付半島ネイチャーセンター

令和5年1月8日　第11回ジオフェスティバル（釧路市遊学館）

1-2-3-16			
分類	1-2-3　世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。		
事業名	**資料の有効的活用のための貸出**		
事業内容・目的	郷土資料の有効的活用を図るため、可能な限り貸出を行い、郷土学習に役立てます。		
評価指標	1.利用者の満足度（アンケートによる）		
備考			

年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	85%	85%	90%	90%	95%
実績1	90%	100%	100%	100%	
決算額	-	-	-	-	
評価	A	A	A	A	

令和4年度（2022）実績

1.利用者の満足度-100%（アンケート回答3件）
　関係機関や各団体の要望に応じての貸出であるため、件数については流動的であります。さらなる有効的活用のための貸出を行うためには、資料基本台帳の整備及び公開が急務である。

期　間	内　　容	貸出資料
4月8日	網走市立郷土博物館 「又十藤野家　網走市と北海道各地での足跡」展実施のため	藤野家パネル-25点 藤野缶詰製造所関係資料-2点
5月31日	中標津町教育委員会 「中標津町文化財保存活用計画」掲載写真	加賀家文書等資料（「東西蝦夷山川地理取調図十四」
9月17日 ～12月1日	北海道縄文遺産推進室 「道東地域における世界遺産-北海道・北東北の縄文遺跡群普及展示会」（釧路市・網走市会場）展示資料	別海2遺跡-土器片4点 西春別2遺跡-土器他4点
7月27日 ～12月21日	国立アイヌ民族博物館 「特別展-アイヌ資料をコレクションする」展示資料	加賀家文書等資料（「樹皮衣」他11点
8月19日	イカロス出版（株） 「北海道の簡易軌道（仮）」掲載写真	【写真資料】中西別停留所・中西別集乳所・ガソリン機関車
2月19日 ～20日	鮭の聖地メナシネットワーク 「普及啓発展示会」展示資料	加賀家文書等資料（「御武者之図）
3月1日 ～31日	上西春別小学校 「昔の道具授業使用のため」	石臼・窓鋸・電話機・火のし
3月23日	（株）昭文社 「北海道旅辞典」掲載写真	加賀家文書等資料（「鱒形図壱拾品鮭形図四品」他4点

1-2-3-17			
分類	1-2-3　世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。		
事業名	**郷土学習推進に関わる刊行物の作成**		
事業内容・目的	郷土学習推進のために町の歴史や自然、郷土資料に関わる調査・研究の成果を広く紹介するために刊行物を計画的に作成し、ふるさと別海への愛郷心の高揚を図ります。		
評価指標	1. 作成件数		
備考			

年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	1	1	1	1	1
実績1	3	5	3	3	
決算額	18千円	10千円	9千円	5千円	
評価	C	B	B	B	

令和4年度（2022）実績

①郷土資料館展示解説シート「別海町の歴史・縄文時代の遺跡」「別海町の歴史・擦文文化の遺跡」「別海町の歴史・アイヌ文化の遺跡」の刊行・配布。
②「別海町郷土資料館だより№273～284」の刊行。当館、役場で配布、ホームページで掲載。（広報活動の充実と重複）
③今後の刊行物作成として「絵本加賀伝蔵物語」の本文・作画、「所蔵資料目録」の準備作業を実施。

郷土資料館展示解説シート

2-2-2-17			
分類	2-2-2　生涯各期-青少年期	担当課	郷土資料館
推進目標	魅力ある様々な体験的学習活動を展開するとともに、他地域・異学年交流を充実します。		
事業名	**郷土資料館サマー・ウインタースクール**		
事業内容・目的	郷土の歴史や自然を理解する心を持たせるとともに、21世紀の別海町の未来を探求させる心を育てます。（夏休み期間・冬休み期間）		
評価指標	1.受講者の満足度（アンケートによる）		
備考			

年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	85%	85%	90%	90%	95%
実績1	97%	97%	99%	94%	
決算額	10千円	13千円	9千円	4千円	
評価	A	B	A	A	

令和4年度（2022）実績

1.受講者の満足度-94%（アンケート回答8人） もの作りを通して別海の歴史を知ることが出来るなど好評だった。

サマースクール

期　日	場　所	内　　容	受講者数
8月4日	郷土資料館	「大昔のべつかい　勾玉をづくり」 講師　別海町郷土資料館　副館長　石渡　一人	8人

ウィンタースクール

期　日	場　所	内　　容	受講者数
1月13日	郷土資料館	「昔の遊び・凧づくり」 講師　郷土資料館職員	参加希望者無

○参加者の感想　サマースクール
・まが玉づくりのけずるところがむずかしかったです。
・かんたんそうでしたけど、むずかしかったです。
・今まで経験したことのない事をやることができたので楽しんでやることができました。
・みがくのがたいへんでした。楽しかったです。またやりたいです。
・初めて作ったけれど楽しかったです。ありがとうございました。
・まが玉を作るには、時間がすごいかかって、とても作るのがたいへんだった。
・まが玉作りを集中して作ることが出来て良い体験になりました。長い時間教えて頂いてありがとうございました。

令和4年8月4日　サマースクール

2-4-3-03			
分類	2-4-3　生涯各期-高齢期	担当課	郷土資料館
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。		
事業名	**所蔵資料を活用した地域回想法事業**		
事業内容・目的	認知症を有する高齢者やその予備軍に対して、所蔵資料を活用した地域回想法への取組を目指す。		
評価指標	1.進捗状況		
備考			

年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標1	85%	85%	90%	90%	95%
実績1	－	－	－	－	
決算額	－	－	－	－	
評価	C	B	B	C	

令和4年度（2022）実績

・令和2年度から、町内12の高齢者福祉施設に「別海町郷土資料館地域回想法事業貸出メニュー」を具体的に明記・周知し利用いただいている。
・令和4年度は、利用実績はなく、今後も積極的に周知し利用を促したい。

3-4-1-01			
分類	3-4-1　施設・機関-郷土資料館	担当課	郷土資料館
推進目標	郷土資料館の整備・充実を図り、文化遺産(郷土資料)を継承していきます。		
事業名	**郷土資料館の整備**		
事業内容・目的	老朽化した郷土資料館・豊原分館の整備方針を策定し、計画的な整備を進めます。附属施設加賀家文書館については、計画的な改修を行います。		
備考	※下記実施計画は、予定とする。		

実施計画	
R1	調査・準備（教育委員会内部検討会議）
R2	調査・準備（役場庁舎内検討会議）
R3	調査・準備（役場庁舎内検討会議）
R4	調査・準備（役場庁舎内検討会議）
R5	基本構想策定
R6	基本計画策定
R7	実施計画策定
R8	工事・展示制作
R9	工事・展示制作
R10	開館

年度	2019	2020	2021	2022	2023
決算額	108千円	-	-	-	
評価	○	○	○	○	
年度	2024	2025	2026	2027	2028
決算額					
評価					

1.郷土資料館・豊原分館
　役場庁舎内検討会議を1回開催。『(仮称)別海町博物館基本構想【提言書】～別海町教育委員会郷土資料館整備事業庁舎内検討会議整備方針として～」』(令和4年6月）を作製し会議のまとめとしました。

郷土資料館

豊原分館

1-2-2-01			
分類	1-2-2　世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館
推進目標	町の歴史的遺産や文化財を適切に保存するとともに、歴史・自然・文化財を学ぶ機会の充実を図り、郷土愛を育成します。		
事業名	**町指定文化財指定･公開活用事業**		
事業内容・目的	町民の文化財への理解を深めるため、町内における指定文化財の一般公開を実施するとともに、必要な整備を実施して活用を図ります。また、別海町歴史文化遺産のうち、町指定文化財としての価値のある物件を、町指定文化財に指定します。		
評価指標	1. 実施整備事業数　　2. 公開上解決できなかった問題の数		
備考			

年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標１	1	1	1	3	1
目標２	0	0	0	0	0
実績１	2	1	1	3	
実績２	0	0	0	0	
決算額	600千円	526千円	557千円	850千円	
評価	B	B	B	A	

2022年度実績報告

野付の千島桜治療を行い、解説看板を更新しました。また、「広野開拓六気の柏」と「上西春別小学校の柏」の解説看板を更新しました。

樹木医による千島桜の治療

野付の千島桜看板

上西春別小学校の柏看板

広野開拓六気の柏看板

1-2-2-02				
分類	1-2-2　世代共通-芸術文化分野		担当課	郷土資料館
推進目標	町の歴史的遺産や文化財を適切に保存するとともに、歴史・自然・文化財を学ぶ機会の充実を図り、郷土愛を育成します。			
事業名	**埋蔵文化財保護事業**			
事業内容・目的	町内にある埋蔵文化財包蔵地の適切な管理を継続するため、「埋蔵文化財包蔵地図」等を用い開発事業者への埋蔵文化財蔵地情報の提供に努めると共に、開発事業実施に当たっては、十分な事前協議が行われるよう調整し、その保護保存を図ります。			
評価指標	1. 不法な開発行為数			
備考				

年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標１	0	0	0	0	0
実績１	0	0	0	0	
決算額	0	0	0	0	
評価	B	B	B	B	

2022年度実績報告

11件の埋蔵文化財事前協議を実施しました。

1-2-2-03				
分類	1-2-2　世代共通-芸術文化分野		担当課	郷土資料館
推進目標	町の歴史的遺産や文化財を適切に保存するとともに、歴史・自然・文化財を学ぶ機会の充実を図り、郷土愛を育成します。			
事業名	**別海町歴史文化遺産認定･公開活用事業**			
事業内容・目的	町内各地区の歴史や文化を物語る物件等を調査研究してリストアップし、「別海町歴史文化遺産」として認定するとともに、その公開活用を図ります。			
評価指標	1. 新規登録数 2. 公開活用事業数　3. 候補物件のリストアップ状況			
備考				

年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標１	1	1	1	1	1
実績１	1	1	1	1	
目標２	1	0	3	1	1
実績２	1	0	3	2	
決算額	106千円	23千円	312千円	158千円	
評価	B	C	B	B	

2022年度実績報告

・別海の住民の大切なものを募集し地域文化の再発見を行ないます。別海町歴史文化遺産候補物件のリストアップ作業を継続します（文化財保存活用地域計画策定と並行して行う。）。
・「第一次伊能忠敬測量隊最東端測量の地」に砂を入れて整備しました。
・「旧浜中町営軌道東円線（簡易軌道茶内支線）上風蓮（開南）停留所」を別海町歴史文化遺産に認定しました。
・「氷の中の青春」上映会を実施しました（47名参加）。
・候補物件を 476件(2021年度まで377件) リストアップしました。

旧浜中町営軌道開南停留所転車台発掘時

「氷の中の青春」上映会

1-2-2-04			
分類	1-2-2　世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館
推進目標	町の歴史的遺産や文化財を適切に保存するとともに、歴史・自然・文化財を学ぶ機会の充実を図り、郷土愛を育成します。		
事業名	**奥行地区文化財保存整備事業**		
事業内容・目的	旧奥行臼駅逓所他、奥行地区に集中している文化財の総合的な保存整備を進め、観光資源としての活用を図ります。		
評価指標	1. 旧奥行臼駅逓所の入館者数　2. 総合的保存整備の進捗状況		
備考			

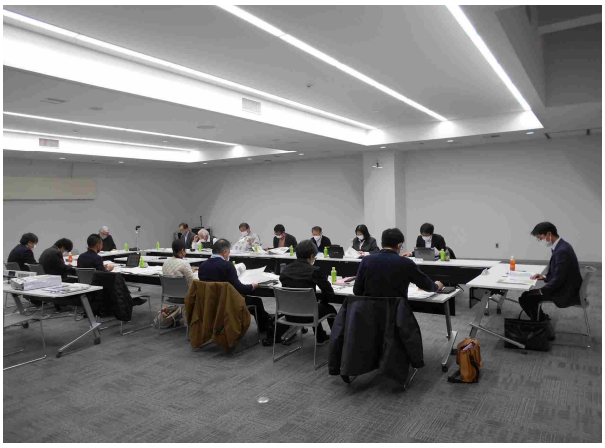
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標１	1,600人	1,700人	1,800人	1,900人	2,000人
実績１	3,288人	1,242人	1,575人	1,940人	
決算額	4,378千円	1,987千円	6,511千円	11,311千円	
評価	A	C	B	A	

2022年度実績報告

・5月1日から11月3日まで奥行地区文化財の一般公開を行いました。旧奥行臼駅逓所の入館者数は1,940名(昨年比365名増)でした。
・奥行臼散策デーを開催しました（140名参加）。
・冬の奥行臼散策デーを開催しました（6名参加）。
・夏休みトロッコまつりを開催しました(294名参加)。
・奥行臼史跡公園整備基本計画策定に向けて、史跡旧奥行臼駅逓所整備検討委員会を3回開催し、ワークショップ（21名参加）を開催しました。
・奥行臼史跡公園整備基本計画の前半部を作成しました。

夏休みトロッコまつり

奥行臼散策デー



史跡旧奥行臼駅逓所整備検討委員会

ワークショップ

1-2-2-05				
分類	1-2-2　世代共通-芸術文化分野		担当課	郷土資料館
推進目標	町の歴史的遺産や文化財を適切に保存するとともに、歴史・自然・文化財を学ぶ機会の充実を図り、郷土愛を育成します。			
事業名	**西別湿原ヤチカンバ群落地保存整備事業**			
事業内容・目的	保存のための調査・モニタリングを継続して行い、西別湿原ヤチカンバ群落地の国指定天然記念物指定を目指します。国指定後は、抜本的な保存事業を実施するとととともに、公開活用を図ります。			
評価指標	1. 保護区域内での不法な採取の件数　2. 国指定の進捗状況			
備考				

年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標１	0	0	0	0	0
実績１	0	0	0	0	
決算額	2,525千円	3,924千円	2,438千円	505千円	
評価	A	A	A	A	

2022年度実績報告

・西別湿原ヤチカンバ群落地保護対策検討委員会を1回開催(ウェブ会議) し、国指定申請書の検討を行いました。
・「西別湿原ヤチカンバ群落」を国の天然記念物に指定するよう文化庁に申請しました。
・水位モニタリングを実施しました。
・帯広畜産大学にヤチカンバ生育地調査研究を委託しました。

保護対策検討委員会(ウェブ会議)

1-2-2-06			
分類	1-2-2　世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館
推進目標	町の歴史的遺産や文化財を適切に保存するとともに、歴史・自然・文化財を学ぶ機会の充実を図り、郷土愛を育成します。		
事業名	**文化財保存活用地域計画・歴史的風致維持向上計画策定事業**		
事業内容・目的	文化財保護のマスタープランである文化財保存活用地域計画を策定し、この構想を踏まえて「歴史まちづくり法」に基づく歴史的風致維持向上計画を策定する。		
評価指標	1. 構想・計画策定の進捗度		
備考	2022-24年度に文化財保存活用地域計画を策定し、2025年度に歴史的風致維持向上計画策定を開始する。		

年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画				○	○
目標１					
実績１					
決算額				7,633千円	
評価				B	

2022年度実績報告

・無作為抽出の町民1,000人及び町内会長113名を対象に郵送によるアンケート調査を実施し、回答結果をまとめました。
・別海町文化財保存活用地域計画策定協議会を3回開催し、計画作成を進めました。
・中西別長生文化会の会員を対象とした文化財バスツアー時聞き取り調査を行いました。
・西公民館で「昔ばなしに花を咲かせませんか」を開催し、聞き取り調査を行いました。
・町民ワークショップを開催しました（参加者28名）。

第3回文化財保存活用地域計画協議会時

中西別長生文化会バスツアー時

「昔ばなしに花を咲かせませんか」（西公民館）

ワークショップ時

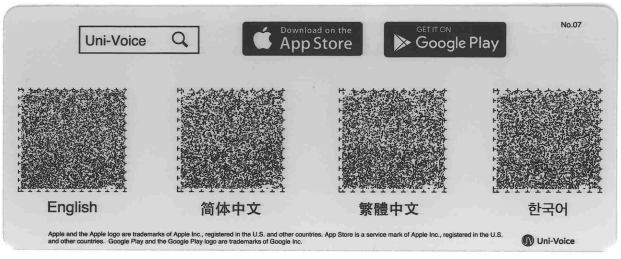
1-2-2-17				
分類	1-2-2　世代共通-芸術文化分野		担当課	郷土資料館
推進目標	町の歴史的遺産や文化財を適切に保存するとともに、歴史・自然・文化財を学ぶ機会の充実を図り、郷土愛を育成します。			
事業名	**日本遺産整備活用事業**			
事業内容・目的	日本遺産「鮭の聖地」の認知度の向上させるために情報発信や普及啓発を行い、町内にある構成文化財の観光資源としての活用を図る。			
評価指標	1.当該年度実施予定各種事業の実施状況			
備考	根室管内1市3町から成る協議会「鮭の聖地メナシネットワーク」が実施。			

年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画			○	○	
目標１					
実績１					
決算額			626千円	3,533千円	
評価			B	B	

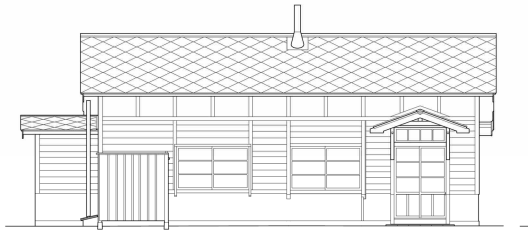
2022年度実績報告

・各市町別のサブストーリーの映像を制作しました。
・旧奥行臼駅逓所と加賀家文書館にWi-Fiを整備し、解説看板等の外国語対応(Uni-Voice) を実施しました。
・旧奥行臼駅逓所、旧奥行臼駅、旧村営軌道風蓮線自走客車のデジタル展示用３Dモデルを制作しました。
・釧路高等専門学校西澤研究室に依頼し、旧奥行臼駅と開拓使別海缶詰所の建築物調査を実施しました。

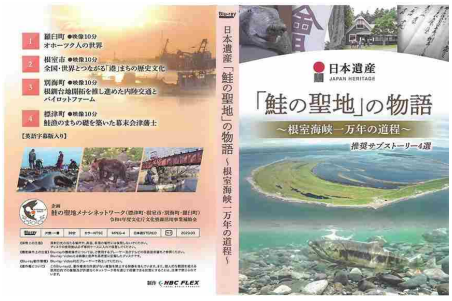
デジタル展示用3Dモデル



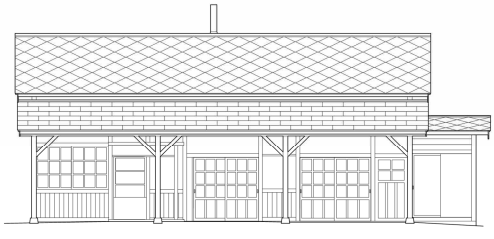
Uni-Voice（旧奥行臼駅逓所）



西立面図１



別海町版サブストーリー映像



東立面図

建築物調査成果の一部

1-2-2-18			
分類	1-2-2　世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館
推進目標	町の歴史的遺産や文化財を適切に保存するとともに、歴史・自然・文化財を学ぶ機会の充実を図り、郷土愛を育成します。		
事業名	**宮舞町湿原保護事業**		
事業内容・目的	希少種ムセンスゲが自生している宮舞町湿原の公有地化を進めて保護し、自然学習の場として活用します。		
評価指標	1.町有地化の進捗状況		
備考			

年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画				○	
目標１					
実績１					
決算額				0	
評価				D	

2022年度実績報告

・宮舞町湿原の町有地化を目指したが、最終的に土地所有者が代替地に移らないこととなり、町有地化は達成できなかった。
・ムセンスゲの自生する湿原の一部については、当面埋め立てずに残されることとなった。